

令和5年度（2023年度）

肥後古代の森協議会

活動報告



はじめに

熊本県北部に位置する菊池川流域には、鞠智城跡や岩原双子塚古墳、江田船山古墳などの国史跡や、熊本県が全国一の数を誇る装飾古墳が多く分布しています。

「肥後古代の森」5地区は、こうした菊池川流域の史跡や文化財を保存活用する目的で、昭和58年（1983年）から整備が始まり、平成4年（1992年）4月15日の県立装飾古墳館の開館を経て現在に至るまで、県民はもとより、多くの方々に親しまれています。

肥後古代の森協議会は、平成4年に熊本県と山鹿市、旧鹿央町（現山鹿市）、旧菊水町（現和水町）の1市2町で組織され、現在はこれに菊池市を加えた2市1町で活動しており、本年度で32年目を迎えます。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、令和5年（2023年）5月10日に5類相当の感染症に移行し、徐々にではありますが、以前の活動を行うことができるようになりました。本年度も引き続き、「肥後古代の森」の史跡、文化財を広く知っていただく取組を進めてまいりたいと思います。

本報告は、令和5年度の肥後古代の森協議会で実施した事業の活動報告になります。令和5年度では、各地区における体験フェアやスタンプラリー、国史跡江田船山古墳の発掘150年記念事業の支援など、可能な限りの周知活動に取り組んで参りました。併せて、域内の装飾古墳調査事業も継続し、秋と春の装飾古墳一斉公開も開催することができました。こうした肥後古代の森協議会の活動を取りまとめたものが本報告になります。

本報告が、「肥後古代の森」の周知に広く活用され、史跡や文化財に今後ますます光があたり、地域の活性化につながることを願います。

令和6年（2024年）10月

肥後古代の森協議会

会長 堀田 浩一郎

目 次

I	肥後古代の森 体験フェア	1
II	古代への旅 スタンプラリー 2023	6
III	装飾古墳調査事業	7
IV	各地区紹介事業	11
V	装飾古墳一般公開	13

I 肥後古代の森 体験フェア

1 目的

肥後古代の森5地区において開催される各種イベントのなかで、古代体験の催しを実施する事業です。古代のアクセサリーである勾玉づくりや古代の道具を使った火起こし、象嵌体験などの体験を通して、肥後古代の森を知っていただく。

2 実績

(1) 鹿央地区

①子どもの日イベント「古墳館へ5・5・GO!!」

- ア 期 日 令和5年(2023年)5月4日(木・祝)～5月5日(金・祝)
イ 場 所 熊本県立装飾古墳館
ウ 内 容 勾玉づくり(色付けあり)
エ 体験実績数 5月4日 60人 5月5日 63人 計 123名(延べ人数)
オ 当日の様子

今年も5月4、5日の二日間の開催で多くの皆様にご参加いただきました。ころう君も会場に巡回に来てくれ、賑やかで楽しいイベントになりました。5月5日の開催は多くの方々に周知されており、昨年度から引き続きご参加いただいた方もおられました。肥後古代の森鹿央地区で年に1回のイベントでもあり、肥後古代の森を十分にPRできる催しとなりました。



②赤米オーナー制度！バケツで育む古代米！

- ア 期 日 令和5年(2023年)6月～12月
イ 場 所 熊本県立装飾古墳館
ウ 内 容 古代赤米づくり
エ 体験実績数 125名(延べ人数)
オ 当日の様子

6月3日（土）田植え・石包丁づくり 参加者34名（延べ人数）

参加者の皆様は、用意した自分専用のバケツに古代から伝わる赤米と黒米の苗を、自分で丁寧に植えていきました。この日は、収穫に使用する石包丁づくりも体験しました。



10月14日（土）稲刈り・竹ごはんづくり 参加者34名（延べ人数）

参加者の皆様は、立派に実った赤米と黒米の稲穂で、前回作った石包丁を使って上手に稲の穂首刈りを行いました。収穫後は、火起こし体験と竹ごはんづくりにチャレンジしました。ふっくらと炊き上がったごはんをおいしくいただく参加者の皆様の笑顔が、とても印象的でした。



12月9日（土）餅つき（収穫祭） 参加者57名（延べ人数）

参加者の皆様は、10月に収穫した赤米と黒米にもち米（白米）を混ぜたものを蒸した後、石臼に入れて、全員で餅つきを体験しました。つきあがったお餅は、丸めて団子にしたものをそのまま食べたほか、ぜんざいに入れておいしくいただきました。



今年で5回目を迎えた「バケツで育む古代米」は、日本では古くから主食としてきたお米づくりを田植えから餅つきまでを通して体験するメニューです。肥後古代の森協議会と県立装飾古墳館の体験活動との共催で本事業を行っています。

(2) 菊鹿地区

○作ろうぜ！鞠智城工作フェスタ in Summer/in Winter

ア 期 日 令和5年(2023年)7月29日(土)、8月5日(土)
12月16日(土)

イ 場 所 歴史公園鞠智城(鞠智城研修施設)

ウ 内 容 7月29日…スーパー竹とんぼづくり
8月5日…木工ストラップづくり
12月16日…手乗り門松づくり

エ 体験数実績 スーパー竹とんぼづくり：57個
木工ストラップづくり：95個
手乗り門松づくり：85個

オ 当日の様子

それぞれの活動において、家族と会話しながら笑顔で活動する参加者の姿が見られました。また、出来上がった自分の作品を嬉しそうに持ち帰りながら、また参加したいとの感想もいただきました。



(3) 山鹿地区

①古代体験ひろば

ア 期 日 令和5年(2023年)7月30日(日)

イ 場 所 山鹿市立博物館

ウ 内 容 火起こし体験、樹脂アクセサリーづくり

エ 体験数実績 7家族23名

オ 当日の様子

夏休みこども体験として、「火起こし体験」「樹脂アクセサリーづくり」を開催しました。会場は山鹿市立博物館の敷地に移築した江戸時代の古民家。7家族23名の参加がありました。初めての火起こしに参加者は悪戦苦闘していましたが、全員が成功。作り上げた種火は民家の庭先に据えたカマドに移し、おこげのある炊き立てのご飯をおいしく味わいました。



②体験ひろば「勾玉づくり」

- ア 期 日 令和6年(2024年)2月3日(土)
- イ 場 所 山鹿市立博物館
- ウ 内 容 勾玉づくり
- エ 体験数実績 20名(2歳から70歳まで)
- オ 当日の様子

古代文化に触れることで肥後古代の森山鹿地区の周知を図るため、「勾玉づくり」を行いました。参加者は装飾古墳館学芸員指導のもと、材料の滑石をサンドペーパーで磨いた後、赤・青・黄・緑の4色から好きな色を選んで着色していました。完成した勾玉は、紐に通してペンダントの完成です。みんな首から下げて出来具合に満足していました。



(4) 菊水地区

○山太郎祭 in なごみ

- ア 期 日 令和5年11月19日(日)
- イ 場 所 肥後古代の森(菊水地区)江田船山古墳前広場
- ウ 内 容 勾玉づくり(色付けあり)、象嵌体験
- エ 参加実績 72名(勾玉64名、象嵌8名)
- オ 当日の様子

山太郎祭の来場者を中心に、小学生から大人まで多くの方にご参加いただきました。

象嵌体験は江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀の模様をモチーフとしており、江田船山古墳の近くで当時の職人に思いを馳せながら体験をする参加者もいました。



(5) 菊池地区

○キクロスまつり

ア 期 日 令和5年（2023年）11月25日（土）

イ 場 所 菊池市生涯学習センター

ウ 内 容 前方後円墳キーホルダーづくり

エ 体験数実績 33個

オ 当日の様子

菊池市では、11月に行われたキクロスまつりにて前方後円墳キーホルダーづくりを行いました。キクロスまつりは市民に対し、生涯学習センター事業をはじめ、活動に触れる機会の提供、学ぶ楽しさを体験し、生涯学習への意欲の向上、参加の促進等を目的とするイベントです。キーホルダーづくりはそのうちの体験学習・活動コーナーで行われ、当日は子どもだけでなく大人の方も含めて非常に多くの参加者が体験され、たいへん好評でした。



II 古代への旅 スタンプラリー 2023

1 目的

県内外の観光客及び地域住民を対象に、肥後古代の森各地区を巡り、文化財等を見学することにより、肥後古代の森の周知を図るとともに、施設やイベントへの集客ツールの一つとして開催しました。

2 事業内容

開催期間：令和5年（2023年）10月1日（日）～11月30日（木）

開催場所：肥後古代の森5地区

内容：期間中、異なる地区のスタンプを2個で1口とし、希望商品を記入して応募するもので、5個で3口とするなど、肥後古代の森各地区を多く回るほど応募口数が増える工夫もしました。また、菊池川流域の日本遺産PRのため、「日本遺産認定の地、菊池川流域を巡る」とし、各地区のおすすめのものを賞品とするなどした結果、延べ936名の応募がありました。



【スタンプ設置会場】

	山鹿	菊鹿	鹿央	菊池	和水
博物館 (休館日以外)	山鹿市立博物館 山鹿市鍋田 2085 TEL.0968-43-1145	歴史公園鞠智城 温故創生館 山鹿市菊鹿町米原 443-1 TEL.0968-48-3178	県立装飾古墳館 山鹿市鹿央町岩原 3085 TEL.0968-36-2151	わいふ一番館 菊池市隈府 1 TEL.0968-24-6630	和水町歴史民俗 資料館(肥後民家 村内) 和水町江田 302 TEL.0968-86-4564

【実績】

応募枚数						
菊鹿ワイン	えこめ牛	七城のこめ	栗と空 商品券	火の本豚 ソーセージ	鹿央物産館 商品券	合計
58	152	75	44	46	56	459
応募口数						
菊鹿ワイン	えこめ牛	七城のこめ	栗と空 商品券	火の本豚 ソーセージ	鹿央物産館 商品券	合計
117	313	153	116	105	132	936

【応募数の推移】

	H27	H28	H29	H30	H31	R4	R5
応募枚数	349	285	233	336	272	511	459
応募口数	507	448	383	502	447	975	936

Ⅲ 装飾古墳調査事業

1 事業の目的

古墳内部の石室壁面などに彩色や浮彫、線刻などの方法で文様が描かれた装飾古墳は、全国的にも重要な文化財として、その多くが国や県の史跡に指定されています。特に菊池川流域には色鮮やかな彩色で描かれた多くの装飾古墳が分布しており、当該地域の歴史文化を代表する文化遺産として日本遺産の構成文化財となっています。

装飾古墳の公開・活用においては、保存環境に影響を及ぼさないようその取扱いに慎重さが求められます。熊本県立装飾古墳館では、平成 19 年度（2007 年度）から装飾古墳の保存・活用の適切なあり方について調査を開始するとともに、平成 21 年度（2009 年度）から各自治体と連携し「装飾古墳一斉公開」事業として活用に取り組んでいます。肥後古代の森協議会においても、装飾古墳の適切な保存のあり方を検討するため、域内の装飾古墳を対象に、平成 22 年度（2010 年度）から継続して温湿度等を測定する環境モニタリング調査を行っています。

2 調査の目的と方法

環境モニタリング調査は、石室内の温湿度変化や外気温との相関関係を把握することを目的に、石室内外に温湿度を測定するためのデータロガーを設置し、継続的に温湿度のデータを収集するもので、併せて装飾文様や石材の変化は目視による観察も行います。

設置機器は、屋外使用に適したデータロガー（オンセット社ホボプロ V2 U23-001）で、その設置箇所は保存施設及び古墳の内部構造に応じて適宜決定します。特に石室や保存施設内など、結露による湿度センサーへの影響が懸念される箇所では、シールド（オンセット社 RS-1）を積極的に使用しています。機器の設置やデータ回収における石室内への入室にあたっては、外からカビなどの原因となるものを持ち込まないように、手袋や防護服等を着用し、調査者の健康に配慮して、防塵マスクの使用を徹底しています。

現在、調査を行っている装飾古墳は合計 10 基で、うち江田船山古墳（和水町）は、平成 31 年（2019 年）1 月の地震で被災し保存施設内の家形石棺が破損したことから、令和 3 年度（2021 年度）からその修復に必要な措置を講じる基礎データの収集のため加えています。

3 調査の成果

平成 28 年熊本地震による装飾古墳の被災や新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置などで、令和 3 年度（2021 年度）まで装飾古墳の一般公開を中止せざるを得ない状況が続きましたが、令和 5 年（2023 年）3 月に「春の装飾古墳一般公開」として、鍋田横穴（山鹿市）、塚坊主古墳（和水町）、石貫穴観音横穴（玉名市）、横山古墳（山鹿市）を公開したのを皮切

表 1 肥後古代の森地区内の環境調査対象古墳

番号	名称	所在地	史跡指定	古墳の概要	整備・被災・修復等	施設の構造 1
1	横山古墳 (移設・復元)	山鹿市	—	6世紀中頃の前方後円墳で、横穴式石室内部の石屋形などの石材に双脚輪状文を始めとする彩色文様が描かれている。	平成4(1992)年度、熊本市北区植木町にあった古墳を鹿央地区に移し石室を復元し、保存施設整備。	入口 金属扉 風防室 金属扉 見学室(羨道) ガラス扉 保存室(玄室)
2	弁慶が穴古墳	山鹿市	国	6世紀後半の円墳で、複式の横穴式石室に各所に幾何学文様のほか、馬、舟、人などが彩色で描かれている。	昭和50(1975)年度、保護施設整備。	入口 金属扉 風防室 金属扉 見学室 ガラス窓・扉 保存室(石室)
3	御霊塚古墳	山鹿市	県	6世紀後半の円墳で、横穴式石室の玄室奥壁に連続三角文が描かれている。	昭和56(1981)年、入口に保護施設設置。平成21(2009)年、石室上部に空隙。 平成26(2014) 入口扉新調。	入口 ステンレス製扉 風防室・前室・玄室
4	馬塚古墳	山鹿市	県	6世紀中頃の円墳で複室の横穴式石室の壁面や袖石に三角文などが彩色で描かれている。	昭和56(1981)年、入口に保護施設設置。	入口 金属扉 羨道・前室・玄室
5	チブサン古墳	山鹿市	国	6世紀前半の前方後円墳で、横穴式石室内部の石屋形に、幾何学文様や人物が描かれている。	昭和47～50(1985)年整備。	入口 ステンレス製扉 階段(下)ステンレス製扉 見学室 ガラス扉 保存室(玄室)
6	オブサン古墳	山鹿市	国	6世紀後半の円墳で、複室の横穴式石室の後室に連続三角文が描かれている。	昭和60(1985)年度復元整備。 平成28(2016)年4月、地震によりき損。天井石間の土砂流出。同年7月ガンゼキ充填により修復。 ^{※4}	羨道・前室 玄室 金属製柵
7	桜の上横穴群 第1号墓	山鹿市	県	6世紀代の横穴群で10基を数える。第1号墓は複式構造を持つ。横穴内部に線刻と赤と白の彩色が残る。	昭和48年(1973)に保護施設整備。令和2年(2020)老朽化した外扉を改修。	入口 金属扉 風防室 金属扉 保存室(前庭部)
8	袈裟尾高塚古墳	菊池市	県	6世紀後半の円墳で、複室の横穴式石室を持つ。石屋形に線刻の靴、三角文が残っている。	昭和56(1981)年度、石室上部修復し、入口に保護施設設置。 平成27(2015)年、羨道部で土砂流出。平成28(2016)年度、地震によりき損。玄室石材の沈降、割れ等。	入口 金属扉 風防室 金属扉 階段(上)・羨道・前室 ・玄室
9	塚坊主古墳	和水町	国	6世紀初め頃の前方後円墳で、横穴式石室内部の石屋形に連続三角文や円文が彩色で描かれている。	平成4(1992)年、保存施設整備。平成28(2016)年地震によりき損。平成30(2018)年7月豪雨時に壁の亀裂から保存室内に水が流入。玄室石材が崩落。	入口 金属扉・ガラス扉 (自動) 風防室 ガラス扉(自動) 見学室【エアコン】ガラス窓 保存室(石室)
10	江田船山古墳	和水町	国	5世紀後半の前方後円墳で、横穴式家形石棺をもつ。明治6(1873)年に発掘され、その折出土した銀象嵌銘大刀などが国宝に指定されている。	昭和30年代に旧菊水町(現和水町)によりおコンクリートブロック造瓦屋根の覆屋による保存施設整備。平成元(1989)年～平成2年(1990)にかけて再整備。	入口 金属扉 見学室 ガラス窓 保存室(石棺)

※1 肥後古代の森では、オブサン古墳、江田船山古墳、塚坊主古墳などが地震などの自然災害により被災した。

※2 石室や保存室(見学室)などの密閉された空間においての感染が懸念されたことによる。

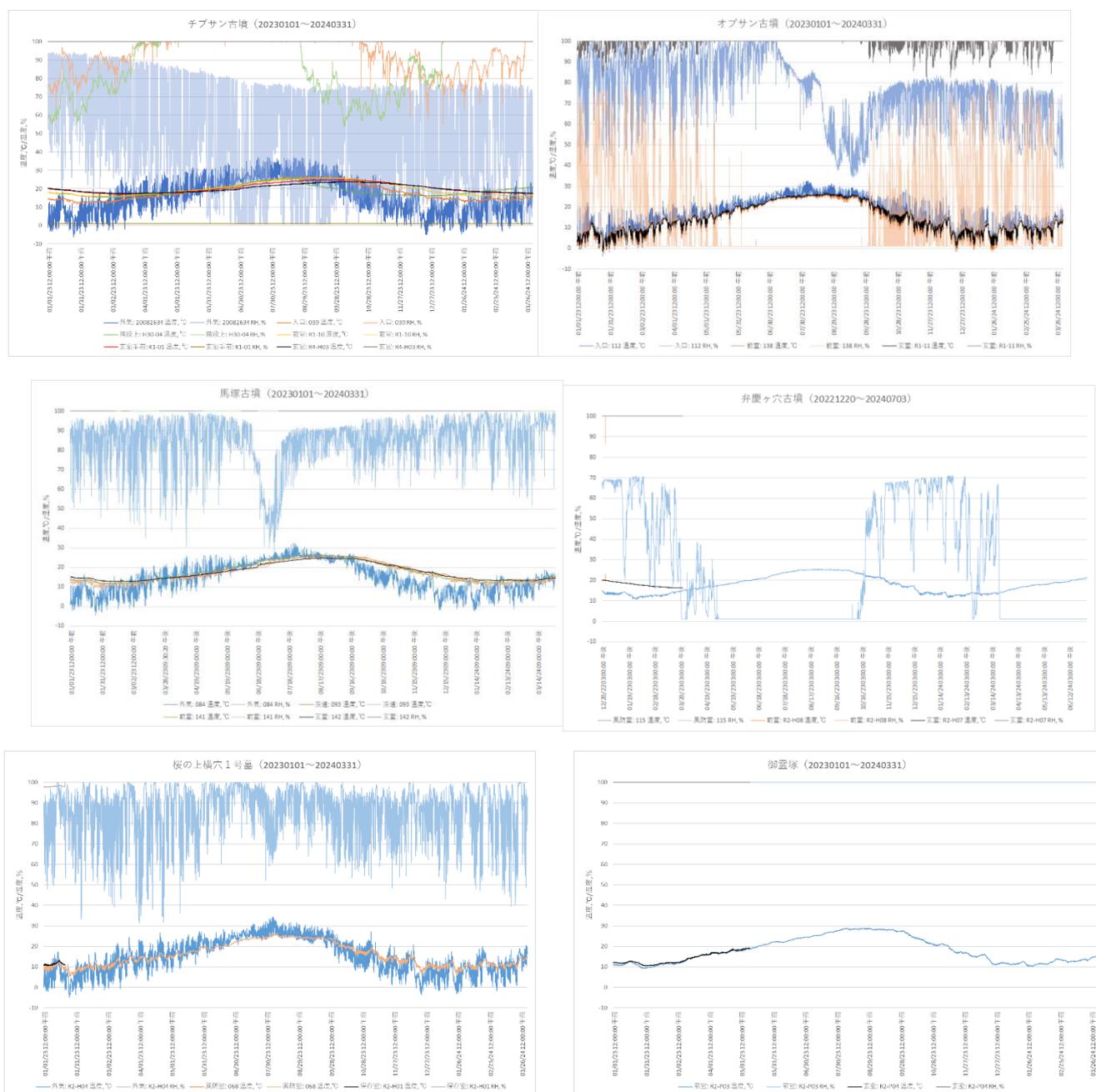
※3 令和3年度からは奈良文化財研究所からデータを引き継いで、江田船山古墳のモニタリングを肥後古代の森協議会で行うこととなった。

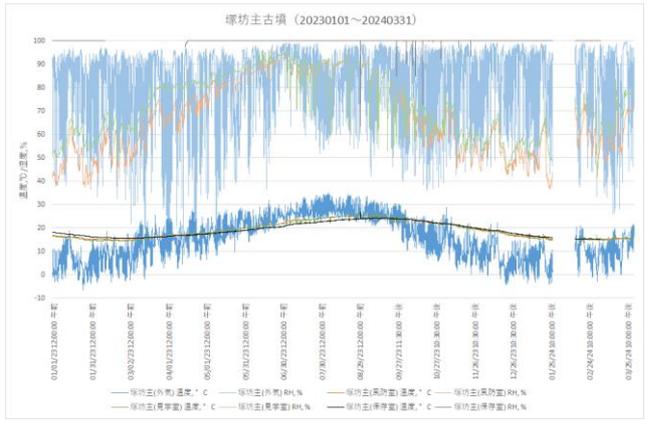
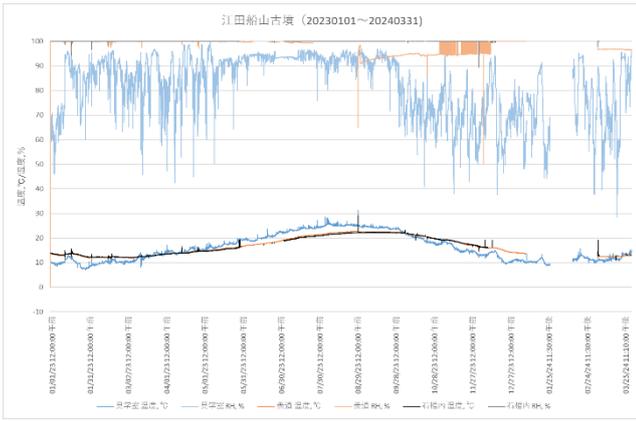
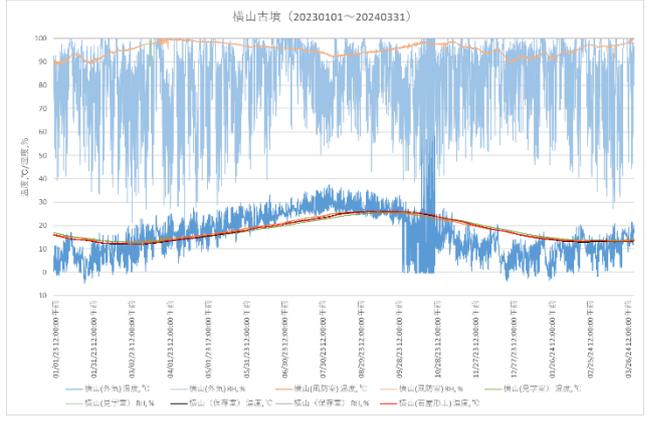
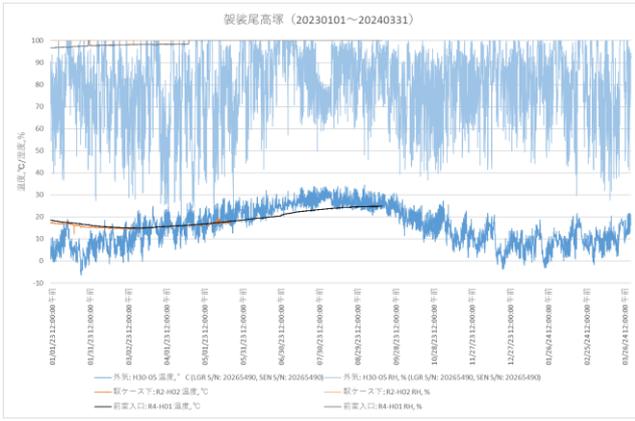
※4 地震の影響で、石室の積石の間に詰めてあった土砂が流失し、空隙が生じたため、県文化課からの依頼により装飾古墳館で「ガンゼキ」を発注し、充填作業を行った。

りに、令和5年度（2023年度）は、令和5年（2023年）11月4・5日と令和6年（2024年）3月16・17日に秋と春の2度の装飾古墳の一斉公開を実施することができ、肥後古代の森協議会でデータロガーを設置している古墳でいえば、塚坊主古墳、横山古墳に加え、春にはオブサン古墳（山鹿市）が新たに公開されました。

令和5年度（2023年度）の各古墳のモニタリングデータをグラフにしたものが表2になりますが、公開時の石室内の温湿度変化と外気温との相関関係に関する貴重なデータを得ることができました。装飾古墳の保存においては、温湿度等の保存環境を一定に保つことが重要で、それを検証するデータを得るためにも、環境モニタリング調査は継続して行っていく必要があります。

表2 肥後古代の森地区内のモニタリングデータ





IV 各地区紹介事業

1 江田船山古墳発掘 150 年記念事業

- (1) 期日 令和 5 年（2023 年）1 2 月 3 日（日）ほか
- (2) 場所 和水町中央公民館ほか
- (3) 作成数
 - ①PR ノベルティ（シール） 1,500 枚
 - ②PR チラシ（両面カラー） 3,500 枚×2 種類

(4) 内容

和水町で行った江田船山古墳発掘 150 年記念事業の PR を目的として、PR ノベルティ（シール）と PR チラシを作製しました。1 2 月 3 日（日）に開催した江田船山古墳発掘 150 年記念シンポジウムに向けた機運醸成を図るため、8 月の和水町古墳祭などの関連イベントのほか、装飾古墳一斉公開や体験フェアなどで配布しました。

PR の結果、シンポジウムには定員を超える応募があり、江田船山古墳発掘 150 年を周知するための大きな効果を得ることができました。

なお、シールとチラシには肥後古代の森協議会フェイスブックの周知マークを盛り込んだほか、発掘 150 年記念動画にも肥後古代の森についてのナレーションを入れ周知しました。



PR ノベルティ（シール）・チラシ



参考：シンポジウムの様子

江田船山古墳発掘 150 年記念動画（日本語版）

※英語、韓国語、中国語版は和水町公式チャンネルから視聴できます。



発掘 150 年記念編動画



東京国立博物館編動画



江田船山古墳公園編動画

2 温故創生館長講座

期日：令和6年（2024年）2月18日（日）

場所：鞠智城研修施設

演題：「渡来系技術と古代山城鞠智城」

講師：歴史公園鞠智城・温故創生館

館長 長谷部 善一

参加者：39名

3 装飾古墳館長講座

期日：令和6年（2024年）3月17日（日）

場所：装飾古墳館集団学習室

演題：装飾古墳を語る「古代人が描いた黄泉の国の物語」

講師：県立装飾古墳館副館長 坂口 圭太郎

参加者：51名



V 装飾古墳一斉公開

1 秋の装飾古墳一斉公開

令和5年(2023年)11月4日(土)・5日(日)の両日に「秋の装飾古墳一斉公開」を実施しました。公開した古墳は、鍋田横穴(山鹿市)、塚坊主古墳(和水町)、石貫穴観音横穴(玉名市)、大坊古墳(玉名市)、横山古墳(山鹿市)です。各古墳の公開状況は、以下のとおりです。

【国史跡鍋田横穴】

公開日：令和5年(2023年)11月4日(土)

時間：①11時～ ②13時～

(それぞれ1時間程度)

参加者：20名

当日の様子：鍋田横穴(国史跡)では、熊本県内や福岡県のほか、横浜など遠方からの参加もありました。ほとんどの方が横穴を見学するのは初めてとのこと、岩肌に彫り込まれた古代の彫刻に興味深く観察していました。鍋田横穴を含む装飾古墳は菊池川流域日本遺産の構成文化財となっているため、日本遺産のPRにもつながりました。



【国史跡塚坊主古墳】

公開日：令和5年(2023年)11月4日(土)

時間：①11時～ ②13時～ (それぞれ1時間程度)

参加者：42名

当日の様子：見学室を開放し、石室内の様子を公開しました。見学室外で詳しい説明を行い、見学室内で石室や装飾文様などの紹介をしました。幅広い年齢層の参加があり、中には古墳や装飾文様に関して熱心に質問をされる参加者もいました。

【国史跡石貫穴観音横穴】

公開日：令和5年（2023年）11月4日（土）

時間：10時～16時（いつでも見学可能）

参加者：73名

当日の様子：昨年度は、コロナウイルス感染症拡大の影響で申込み制で限定的に公開を行いました。今年度は従来どおり、申込みなしで自由に見学できるようになりました。天気も良く、見学者は熱心に担当者の解説を聞いていました。

【国史跡大坊古墳】

公開日：令和5年（2023年）11月4日（土）

時間：10時～16時（いつでも見学可能）

参加者：121名

当日の様子：新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年に中止して以来、3年ぶりの公開を行いました。以前同様多くの見学者が訪れ、熱心に担当者の解説を聞いていました。



【横山古墳】

公開日：令和5年（2023年）11月4日（土）・5日（日）

時間：①11時～ ②13時～（それぞれ1時間程度）

参加者：（11月4日）24名（11月5日）32名

当日の様子：両日ともに天候に恵まれ、県内外から多くの見学者に来ていただきました。横山古墳は旧植木町から移築した古墳で、双脚輪状文という全国的にも珍しい装飾文様がみられ、そうした特徴をまずは外で説明しました。見学室は羨道（通路）を利用したもので手狭であるため、1グループずつ石室内部に入って見学していただきました。普段見ることができない石室内部の装飾を真近で見た見学者からは、感嘆の声が上がっていました。



2 春の装飾古墳一斉公開

令和6年(2024年)3月16日(土)・17日(日)の両日に「春の装飾古墳一斉公開」を開催しました。公開した古墳は、オブサン古墳(山鹿市)、塚坊主古墳(和水町)、石貫穴観音横穴(玉名市)、大坊古墳(玉名市)、横山古墳(山鹿市)です。各古墳の公開状況は、以下のとおりです。

【国史跡オブサン古墳】

公開日：令和6年(2024年)3月16日(土)

時間：①11時～ ②13時～(それぞれ1時間程度)

参加者：37名

当日の様子：装飾古墳一斉公開では初めての公開でした。天候に恵まれ東京や愛知など遠方からの参加もあり、盛況でした参加者からは「オブサン古墳は以前に見学したことがあったが、解説してもらったのは初めて。」「石室に使われている石の大きさに驚いた。」などの感想がありました



【国史跡大坊古墳】

公開日：令和6年(2024年)3月16日(土)

時間：10時～16時(いつでも見学可能)

参加者：72名

当日の様子：11月の一斉公開と同様に実施しました。見学者の理解を促進するため、石室内の360°写真を石室入口の脇にモニターで映して解説しました。実物と併せて見学することで、装飾や石室の構造がよくわかったという意見がありました。



【国史跡石貫穴観音横穴】

公開日：令和6年(2024年)3月16日(土)

時間：10時～16時(いつでも見学可能)

参加者：48名

当日の様子：11月の一斉公開と同様に実施しました。やや見学者数は少なかったものの、天気も良く、見学者は熱心に担当者の解説を聞いていました。

【国史跡塚坊主古墳】

公開日：令和6年（2024年）3月17日（土）

時間：①11時～ ②13時～（それぞれ1時間程度）

参加者：39名

当日の様子：あいにくの天気となりましたが、多くの方に参加いただきました。秋と同様に見学室を開放し、石室内の様子を公開しました。見学室で塚坊主古墳や装飾文様について詳しく説明した後、実際に石室を見学していただきました。勉強熱心な参加者も多く、主に装飾文様や古墳についてたくさんの質問がありました。



【横山古墳】

公開日：令和5年（2023年）3月16日（土）・17日（日）

時間：①11時～ ②13時～（それぞれ1時間程度）

参加者：（16日）32名（17日）15名

当日の様子：秋の一斉公開と同様、2日にわたって公開しました。16日は天候に恵まれたものの、17日はあいにくの雨でしたが、両日ともに多くの方に見学していただきました。県外の参加者からも、久しぶりに見学したとの声もあり、リピーターも増えているように感じました。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類相当の感染症に移行して以降、肥後古代の森協議会の活動も、以前の活動を取り戻しつつあります。

そうしたなか、令和5年度は、前年度に続き、各地区における「体験フェア」や「スタンプラリー」、装飾古墳の一斉公開においても秋と春の2度にわたって開催することができました。また各地区紹介事業では、肥後古代の森を代表する江田船山古墳の発掘150年を記念する事業の支援をすることができました。

令和6年度も始まりましたが、ますます活発に事業を展開し、本協議会の目的である「肥後古代の森の周知」を実践し、山鹿、鹿央、菊水、菊鹿、菊池の5地区における指定文化財、史蹟の保存と活用が図られることを期待します。

令和6年（2024年）10月31日

肥後古代の森協議会 事務局一同

令和5年度（2023年度）肥後古代の森協議会活動報告書

発行日 令和6年（2024年）10月31日

編集・発行 肥後古代の森協議会

事務局 熊本県立装飾古墳館

熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085 番地

電話 0968-36-2151

令和5年度（2023年度）
肥後古代の森協議会